

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和2年度

施策コード	112	施策	人権の保障
管理事業	人権事業	所管部局	市民部

1	所管室課	人権政策室	事業名	人権啓発事業
事業概要				
市民ひゅーまんセミナー、人権啓発パネル展、吹田市人権啓発推進協議会活動補助、人権週間啓発、その他人権啓発				
活動実績				
【市民ひゅーまんセミナーの市制施行80周年記念による拡充】				
(1)啓発講演会参加人数 令和2年度…572人、令和元年度…1,365人、平成30年度…822人		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額（千円）	3,653	
		一般財源の比率（%）	76.7	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
(2)吹田市人権啓発推進協議会活動補助 地域に密着した人権啓発活動を行うために、補助金を交付した。 啓発活動参加人数 令和2年度…1,458人、令和元年度…56,500人、平成30年度…58,678人 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの事業が縮小・中止となったが、「性の多様性」等をテーマとした啓発パネル展を実施し、オンライン配信という手法を新たに取り入れた講演会では、多くの参加を得られた。その他、人権啓発ポスターや人権カレンダー等の作製・配布による啓発を行った。また、コロナ差別に対する啓発のためにパネル展を実施し、ポスター・チラシを作製・配布するとともに、繰り返しホームページやSNSによる啓発を行った。		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 多くの市民への啓発や情報発信を進める必要があり、SNSによる広報や電子申込システムの活用に取り組んでいる。また、吹田市人権啓発推進協議会の地区委員会の活動において、より幅広い年齢層の参加を得られるように工夫を行う必要がある。		今後の実施計画の方向性・内容 継続 引き続き、事業の実施方法や情報発信の手法を検討しながら実施する。

2	所管室課	人権政策室	事業名	人権推進事業
事業概要				
人権擁護活動、人権施策推進				
活動実績				
(1)人権擁護委員による人権相談件数 令和2年度…6件、令和元年度…5件、平成30年度…7件		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額（千円）	356	
(2)人権擁護委員による人権教室実施回数 令和2年度…12回、令和元年度…17回、平成30年度…10回		一般財源の比率（%）	100.0	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
法務大臣から委嘱された人権擁護委員が、市民の基本的な人権が侵害されるような場合に、速やかにその救済のための措置を取るとともに、市民からの人権に係る様々な問題について相談を受けている。また、人権擁護委員が小・中学校等を訪問し、人権課題をテーマに講演する人権教室を実施することで子供たちへの人権啓発にも取り組んでいる。		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 人権擁護委員の活動をさらに充実させるために、委員の増員の検討も必要である。		今後の実施計画の方向性・内容 継続 令和4年度に5年に1回の市民意識調査を実施する予定。

	所管室課		事業名	
事業概要				
活動実績				
		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額（千円）		
		一般財源の比率（%）		※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		今後の実施計画の方向性・内容

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名